

計画策定年月 20年11月

計画変更年月 年 月

ふるさとづくり計画書

地域協議会名称： 大崎上島町地域協議会
都道府県・地町村名： 広島県豊田郡大崎上島町
地区名： 大崎上島町

第1 ふるさとづくりのテーマ、地区の将来像

| | |
|--------------------|--|
| <p>ふるさとづくりのテーマ</p> | <p>権伝馬<small>かいてんま</small>ロマンのしま・大崎上島</p> |
| <p>地区の将来像</p> | <p>大崎上島は瀬戸内海の中心に位置し、気候温暖にして自然環境に恵まれた実り豊かな島であることから、この機会に島民の英知を結集してわが島に活気を呼び戻したい。創立110年にも及ぶ広島商船高等専門学校を核に各学校及び地元の関係者連携のもと、わが島の児童・生徒が次世代の地域の担い手として育まれることを目的として、島の伝統文化である「権伝馬<small>かいてんま</small>」をテーマに郷土の歴史の習得と総合的な情操教育により、郷土愛と体験活動による協働する喜びを体験させたい。</p> <p>「権伝馬<small>かいてんま</small>」は伝統的な神事であり、神事としての権伝馬<small>かいてんま</small>競漕を保存しつつ、島外の住民が海の伝統文化を体感できる機会をつくるため、新たに交流レースや体験コースを創生して、日常的に交流体験希望者が参加し、島民の暮らしとふれ合うことの出来る滞在型生活観光の基礎を築きたい。</p> <p>こうしたことから、「権伝馬<small>かいてんま</small>」祭りを広くPRして交流体験ツアーを実施し、島の良さを見て知って体験してもらおう中で、島民と一緒にあって、島に埋もれたあるいは忘れられた資源を今一度掘り起こすなど、新たな地域力発掘の起爆力としたい。また、権伝馬<small>かいてんま</small>にまつわる海の伝統芸能・文化は、瀬戸内海の島嶼部、沿岸部を中心に西日本各地に伝承されているものの、少子高齢化の中で、規模・内容等をそのまま継承するには厳しい局面にある。</p> <p>こうした中で、往時に近いそのものを伝承している地域である大崎上島が権伝馬<small>かいてんま</small>文化の中核として、全国各地から往時を偲ぶ人々が集い、ふれ合うメッカとなり、四方海に囲まれた日本の伝統文化の一つを守り育てる先導的な地域「権伝馬<small>かいてんま</small>ロマンのしま・大崎上島」になることを目指したい。</p> <p>全国に誇れる風光明媚で気候風土に恵まれ島の島民が丹精して作った減農薬のみかん・レモン・ブルーベリー及び水産加工物・みそ醤油等の特産物の販路拡大や平坦地の遊休農地及び円熟（高齢者耕作限界）農地の活用を図ると共に、広島商船高等専門学校の施設等を活用した洋上体験など、統合された後の中学校施設・技術・特産品の有効活用を図りながら、大崎上島ファンを増やして、「権伝馬<small>かいてんま</small>ロマンのしま・大崎上島」に活性化をもたらしたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「権伝馬<small>かいてんま</small>」を通じて島の担い手（若者）育成 <ol style="list-style-type: none"> ① 島内の児童・生徒に体験・体感活動による協働の喜びを会得さす ② 郷土史等を再整理したうえで、歴史・伝統から学び郷土愛を育む ③ 郷土意識を共有することにより、地域の連帯感（和）を育む 2 「権伝馬<small>かいてんま</small>」にまつわる歴史・伝統の再整理 <ol style="list-style-type: none"> ① 起源及び伝承の記録整理 ② 地域毎の神事・行事の記録整理 3 「権伝馬<small>かいてんま</small>」による交流促進 <ol style="list-style-type: none"> ① 島外からの児童・生徒に乗船体験会を催す ② 児童・生徒・保護者と島での体験交流を図る ③ 海と船の歴史を学ぶ「権伝馬（かいてんま）塾・海塾」の開設 4 地域連携交流による滞在型生活観光促進 <ol style="list-style-type: none"> ① 権伝馬（かいてんま）祭りを中心とした、体験ツアーの実施 ② 来島の機会に島暮らしを見て知って体験してもらおう（みかん・ブルーベリー狩り、多島美ハイキング、釣り等） ③ 船舶乗船体験、和船・ボート・カヌー・ヨット等の操船体験 ④ 権伝馬（かいてんま）レースへの参加 5 全国的な事業展開 <ol style="list-style-type: none"> ① 歴史的繋がりのある地域による「権伝馬サミット会議（仮称）」の創設及び権伝馬電子博物館の開設 ② 「権伝馬（かいてんま）シンポジウム」等の定期的開催及び「権伝馬（かいてんま）大学（仮称）」の常設化 ③ 全国大会「権伝馬（かいてんま）レース」の定期的開催 |

第2 ふるさとづくりの目標

| | |
|---|--|
| 計画期間（平成20年度～24年度） | |
| 目 標 | <p>平成20年度 権伝馬<small>かいてんま</small>を核としたしまづくりプランの作成及び権伝馬<small>かいてんま</small>の歴史整理・担い手育成者の指導目標の統一、島興し講演会シンポジウム（権伝馬<small>かいてんま</small>アピール）開催</p> <p>平成21年度 担い手育成を通じ情操教育の実施、島内中学校（従前3校）が1校に統合行事として権伝馬<small>かいてんま</small>体験会の実施及び権伝馬<small>かいてんま</small>を核としたわが島に関係する海の歴史及び船の歴史の掘り起こしと交流・体験ツアーのミニ実験実施</p> <p>平成22年度 島外児童・生徒の権伝馬<small>かいてんま</small>体験実施、全国権伝馬<small>かいてんま</small>プレ・サミット開催及び権伝馬<small>かいてんま</small>を核とした海と船の歴史塾体験・交流ツアーの同時実施</p> <p>平成23年度 権伝馬<small>かいてんま</small>祭りを中心とした交流・体験ツアーの実施及び権伝馬<small>かいてんま</small>レース全国大会の実施並びに海と船の歴史郷土大学の試行</p> <p>平成24年度 上記行事を滞在型生活観光に推進及び権伝馬<small>かいてんま</small>レース全国大会の継続、海の文化から見たまちづくり・島興し計画作成</p> |
| ○目標設定の考え方 | |
| <p>【地区の概要】 島全体として高齢化（高齢化率42.39%）が進み空き家も増えているため、権伝馬<small>かいてんま</small>を核とした事業を推進することにより、島外の方々と地域交流を通じて定住希望者を募り、町民有志と共に荒廃地の活用及び雇用を創設する。また、伝承記録を整理することにより、地元児童・生徒に郷土史に触れさせ先祖の誇りを伝えることにより郷土愛を育み、担い手育成と情操教育を実践し、次世代の担い手及び地元住民の意識向上を図りたい。</p> | |
| 【現状と課題】 | 現 状 |
| <p>①商工会、観光協会、自治会、広島商船高専、地元小中学校の活動が独自でまとまりに欠ける。</p> <p>②地域住民自らが、地域全体のことを考え地域づくりを行う機会が少ない。</p> <p>③住民自身が地域の良さに気づかず「無いもの探し」をし、自信と誇りを失っている。</p> <p>④島民だけでは、解決できないとあきらめる傾向にある。</p> | 課 題 |
| | <p>①地域協議会による島内関連組織の横断的連携による総合力の結集。</p> <p>②若年層から高齢者層に亘る地域住民が協力し、地域をあげた取り組みが不可欠。</p> <p>③地域の歴史と文化を見直し、住民一人ひとりがその重要性を理解し、自信と誇りを取り戻す。</p> <p>④Uターン、Iターンが増えつつある中で、都市住民との交流を通じて新たな地域活動を掘り起こす必要がある。</p> |
| 【今後の活動方向】 | |
| <p>地域協議会を組織することにより、わが島の活用できる有形無形の資源を整理発掘し、権伝馬<small>かいてんま</small>をメインテーマとして海と船の歴史資源を集め、その他の観光資源と組み合わせ権伝馬<small>かいてんま</small>行事を通じて交流・定住事業となるよう育てると共に滞在型観光事業まで高め、空き家及び遊休農地や円熟（高齢者耕作限界）農地等の活用に結びつけたい。</p> | |
| 【期待される効果】 | |
| <p>権伝馬<small>かいてんま</small>をテーマの島興しが、より一層住民の認識度を増し、交流体験・移住体験ツアーを実施して新たな地域連携を図る中で、島民にとって誇りを形成する一方、地域交流を通じて、グリーンツーリズム活動が活発になり、島内定住人口の確保促進につながる。</p> <p>また、遊休・円熟（高齢者耕作限界）農地の活用や空き家の有効活用を図り、島内の有形無形の資源を発掘して有効活用し、瀬戸内海の島嶼部における自立生活圏創生に向けたモデル地域となりうる</p> | |

第3 事業計画 総括表

| 区 分 | 活 動 事 項 | 活 動 内 容 | 現在の活動状況 | 実施スケジュール |
|-------------------------------------|---|--|-------------------------|-------------|
| | | | | |
| 1 「農林漁業」に関連した農山漁村の伝統文化の保全・復活等に向けた活動 | ・ <small>かいてんま</small> 權伝馬行事 | <small>かいてんま</small> 權伝馬を通じて担い手の育成及び情操教育の実施 | 担い手不足のため行事のみ | 平成20年～平成24年 |
| | ・ <small>かいてんま</small> 權伝馬の歴史整理 | 海の民の源泉ともいべき <small>かいてんま</small> 權伝馬の歴史整理 | 歴史が散逸している | |
| | ・ <small>かいてんま</small> 權伝馬を核とした体験・交流ツアーの実施 | <small>かいてんま</small> 權伝馬を地域の目玉とし、交流の起爆剤として体験交流を 発展させる | 各団体が個別に実施 | 平成21年～平成24年 |
| | ・ <small>かいてんま</small> 權伝馬を通じて海の文化を見直し、まちづくりへ | <small>かいてんま</small> 權伝馬を通じ海の民、海の文化の見直し作業及び權伝馬・ 海塾・ <small>かいてんま</small> 權伝馬大学（仮称）の開設 | 海の視点でのプランがない | 平成21年～平成24年 |
| 2 個性的で魅力ある地域固有の風景づくり等に向けた活動 | ・島内景勝地の住民による選定及び周辺整備 | 従来の風景等に歴史・伝承を整理し、付加価値をつける | 伝承のみで記録が少ない | 平成21年～平成24年 |
| | | | | |
| 3 古民家等の農山漁村にある地域資源を活用した村おこしに向けた活動 | ・島内の5階建、3階建の木造建築及び旧街並みの保全 | 他に類を見ない木造高層建築物の保全と活用方法の検討 | 部分的にある説名板が古いか壊れたままとっている | 平成21年～平成24年 |
| | | | 管理は個人任せで統一的な扱いが決められてない | |
| 4 その他 | ・統合後の学校校舎の活用 | コミュニティーの活動拠点として研修及び介護施設（グループ・ホーム）や地域交流の宿泊所としての活用 | 活用の検討が遅れている | 平成21年～平成24年 |
| | ・特産品の販路拡大 | 蒲鉾等練り製品及び水産加工物・みかん並びに野菜類の販路拡大（島外の他地域に誇れるものが多数ある） | 総合的な対応がされていない | 平成21年～平成24年 |

第4 事業実施計画（平成20年度）＊年度は事業実施年度とする。

| 活動事項 | 活動主体名 | 活動実施地域 | 活動内容 | 目標 | 実施時期 | 事業費 | 負担区分 | | 備考 |
|------------------------------|----------------|----------------|------------------------------|---------------|--------|------------|------------|-----|--|
| | | | | | | | 国庫補助金 | その他 | |
| 1 権伝馬行事 ①島興し講演会・シンポジウムの開催 | 大崎上島町 地域協議会 | 大崎上島町内 | 島に関する海と船の歴史等について講演とシンポジウムを実施 | 参加者300人 目標 | 21年2月 | 670,000円 | 670,000円 | | 使用料・賃貸料（会場） 40,000円 資材等購入費（看板材料） 40,000円 講師等謝金 150,000円 （@50,000円x3名） 泊 30,000円 （@10,000円x3名） 運賃 60,000円 （@20,000円x3名） 需用費ポスター 48,000円 告知チラシ 72,000円 パンフレット 130,000円 機械賃料（権伝馬運搬） 100,000円 （合計 670,000円） |
| ② 担い手指導書作成 | 同 | 大崎上島町内 | 指導書作成 | 冊子 | 同 1月～ | 109,000円 | 109,000円 | | 賃金 59,000円 （@5,900円x10名） 需用費 冊子印刷 50,000円 |
| ③ 祭り法被の作成 | 同 | 大崎上島町内 | イベント参加用 | 100着 | 同 2月 | 900,000円 | 900,000円 | | 資材等購入費 900,000円 （@9,000円x100着） |
| 2 歴史整理 ・歴史掘り起こし作業及び冊子作成 | 同 | 大崎上島町内 及び近郊 | 掘り起こし作業及び歴史資料を作成 | 冊子 | 同 1月～ | 218,000円 | 218,000円 | | 賃金 118,000円 （@5,900円x20名） 需用費 冊子印刷 100,000円 |
| ・参考書籍整備 | 同 | 大崎上島町内 | 調査研究 | 6冊 | 同 1月～ | 30,000円 | 30,000円 | | 資材購入費 30,000円 （@5,000円x6冊） |
| ・パソコン等リース料 | 同 | 大崎上島町内 | 書類作成 | | 同 1月～ | 15,000円 | 15,000円 | | 使用料・賃貸料 15,000円 （月極@5,000円x3月） |
| ・会議費 | 同 | 大崎上島町内 | | | 同 1月～ | 9,000円 | 9,000円 | | 会議費 9,000円 （@150円x60名） |
| ・文房具 | 同 | 大崎上島町内 | 文房具及び用紙 | | 同 1月～ | 20,000円 | 20,000円 | | 需用費 20,000円 |
| ・コピー代 | 同 | 大崎上島町内 | 会議資料等 | | 同 1月～ | 29,000円 | 29,000円 | | 需用費 29,000円 （@10円x2,900枚） |
| | | | | | （事業費合計 | 2,000,000円 | 2,000,000円 | ） | |

第5 地区の組織体制

(1) 地区協議会の概要

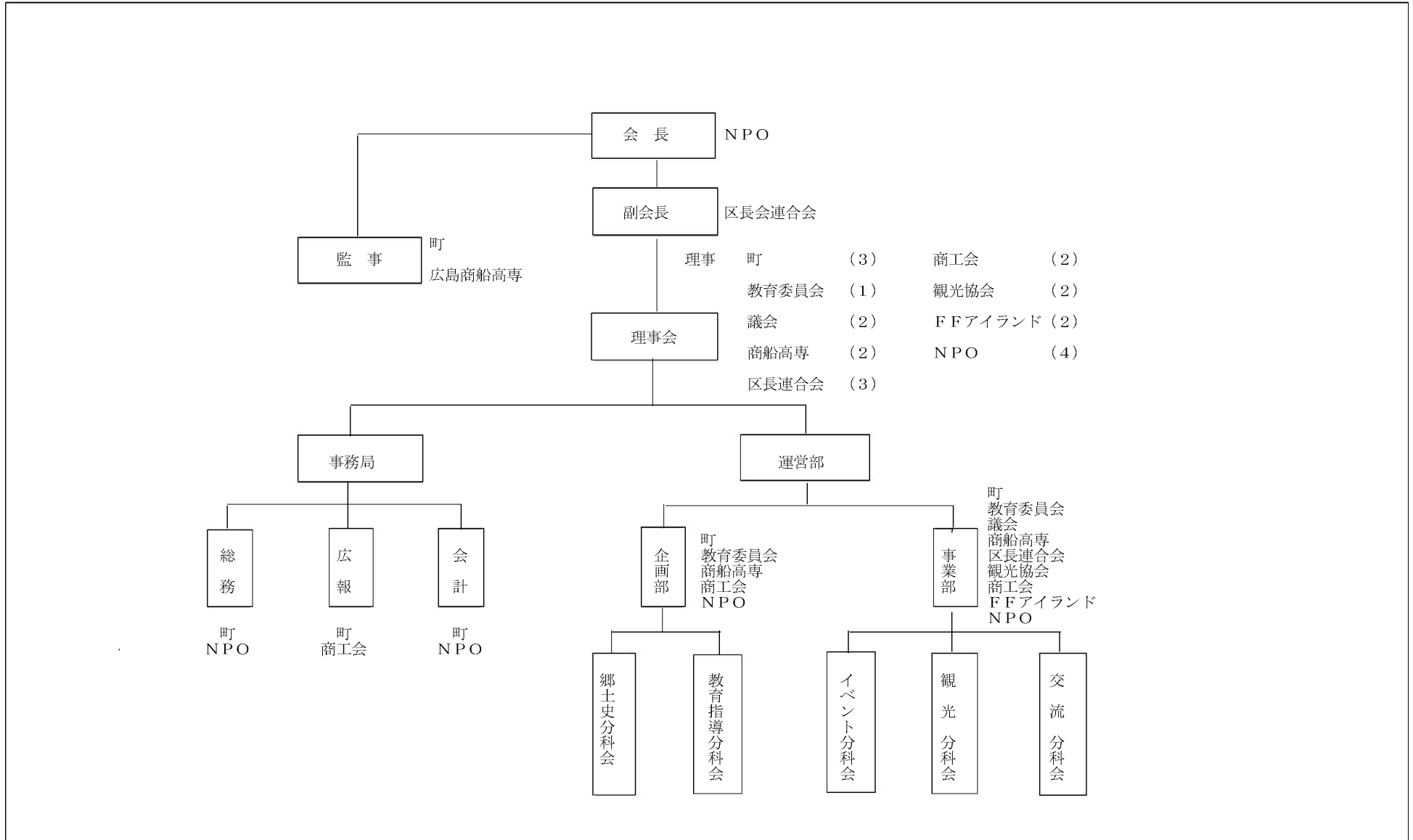
| | | | | |
|------------|-------------|-------------|---------------------|------|
| 地域協議会の名称 | | 代表者氏名 | 事務所所在地 | |
| 大崎上島町地域協議会 | | 松浦真英 | 広島県豊田郡大崎上島町中野1834番地 | |
| 設立年月 | 主な活動地域 | (農地地域類型区分等) | 構成員数 | 構成人員 |
| 平成20年8月27日 | 広島県豊田郡大崎上島町 | 平坦農業地域 | 9 団体 | 21 人 |

(2) 地区協議会構成員一覧

| 番号 | 団体名称 | 種類 | 従来 の 活 動 内 容 | 主な活動の範囲 (地区名称) | 設 立 年 | 所 在 地 | 構成人員 |
|----|------------|--------|---|-------------------|---------|-------|------|
| 1 | 大崎上島町 | 行政 | 商工観光課、企画課、農林水産課が地域協議会に参加 | 大崎上島町 | 2003年4月 | 大崎上島町 | 3名 |
| 2 | 同 教育委員会 | 同 | | 同 | 同 | 同 | 1名 |
| 3 | 同 町議会 | 議会 | 総務・福祉・文教及び産業・建設各常任委員会 | 同 | 同 | 同 | 2名 |
| 4 | 広島商船高等専門学校 | 教育 | 外航船舶職員及び海事関連事業に対応できる技術者を養成、近隣の市町と協力連携体制を確立、交流会及び会見会を開催 | 同 | 1898年5月 | 同 | 2名 |
| 5 | 大崎上島町連合区長会 | 地域住民団体 | 自治会活動 | 同 | 2003年4月 | 同 | 3名 |
| 6 | 同 商工会 | 同 | 地域ブランドを各地催しに出展、親睦スポーツ大会籌開催、防犯活動及び美化活動等実施、神峰山ウォークの側面支援 | 同 | 2007年1月 | 同 | 2名 |
| 7 | 同 観光協会 | 同 | 特産品宣伝、観光マップの作成、神峰山ウォークの開催 | 同 | 2003年4月 | 同 | 2名 |
| 8 | FFアイランド大崎会 | 同 | 島内生産者及び製造者集団各地催しに出展、広島からバスツアー実施 | 同 | 1993年3月 | 同 | 2名 |
| 9 | NPOかみじまの風 | 同 | 障害児・高齢者福祉体験教室及びパソコン教室開催、海水浴場等環境保全活動ほか思いやり医療講演会、商船高専との共催でわが町のコミュニティ・バス交流会等開催 | 同 | 2005年1月 | 同 | 4名 |

第5 地区の組織体制

(3) 地区協議会の組織図及び活動分担表



第6 その他の関連事項

2. 地区の有形無形の資源リスト

| 番号 | 資源の名称 | 内 容 | 分類 | 所在地 | 管理方法 | 備考 |
|----|--------------|---|------|---------|------------------------|----|
| 1 | 木江厳島神社十七夜祭り | 木江港を中心に繰り上げられる木江厳島神社の十七夜祭、4隻の櫓伝馬に若者たちが乗り込み勇壮な競漕が行われる。夜の花火大会は芸南地域最大。 | 伝統文化 | 大崎上島町木江 | 木江十七夜祭実行委員会 | |
| 2 | 東野住吉祭り | 約200年前から伝承されている東野住吉祭り、昼には東野地区の櫓伝馬5隻による競漕が繰り上げられ、夜には提灯が灯された御座船が海に浮かぶ。 | 伝統文化 | 大崎上島町東野 | 東野伝統文化保存会 | |
| 3 | 恵比寿神社秋祭 | 恵比須神社の秋祭りは五穀豊穡と豊漁を祈願して沖浦地区で毎年行われており、地元各地区から4隻の伝馬船が出漕し、勇壮な競漕が繰り上げられる。 | 伝統文化 | 大崎上島町沖浦 | 恵比寿神社秋祭実行委員会 | |
| 4 | 国立公園神峰山からの眺望 | 瀬戸内海国立公園の中央に位置する神峰山の山頂(463m)からは、瀬戸内海の多島美(115島)を見渡せ、南側には四国連山、東側には西瀬戸自動車道北には本州の山なみ、西には安芸灘諸島を眺望することができ、春、秋のハイキングに最適。 | 景 観 | 大崎上島町 | 大崎上島町 | |
| 5 | 大串海水浴場・キャンプ場 | 広島県内最長の白砂の大串海岸と隣接するキャンプ場は、自然そのもの。温水シャワー、売店、桟敷も完備、夏休みの家族でのレジャーに最適。 | その他 | 大崎上島町大串 | 大崎上島町 | |
| 6 | 観光遊漁船 | 瀬戸内海の魚をのんびりと船から釣が楽しめる。 鯛やアコウ、ホゴ、アジ、キザミなどが季節によりつれます。駐車場も500台がOK。 | 農林漁業 | 大崎上島町 | 大崎上島漁業協同組合 フィッシング中村 | |
| 7 | 観光ブルーベリー狩り | 6月中旬から8月にブルーベリー狩りができます。町内の農園で直接ブルーベリーを摘み、その場で食べるのもよし、家に持ち帰りジャムを作るのもよいでしょう。 | 農林漁業 | 大崎上島町全域 | ブルーベリー農家 | |
| 8 | 観光みかん狩り | 期間10月から12月、みかん畠でのんびりとみかん狩りは最高。 | 農林漁業 | 大崎上島町全域 | みかん農家 | |
| 9 | 木江温泉 | 泉質はナトリウム、カルシウムを多く含んだ塩化物冷鉱泉、効能は神経痛、冷え性、高血圧など幅広い効能があり、瀬戸内海を眺望できる露天風呂でゆったり入浴が楽しめる。 | その他 | 大崎上島町木江 | ホテル清風館 | |